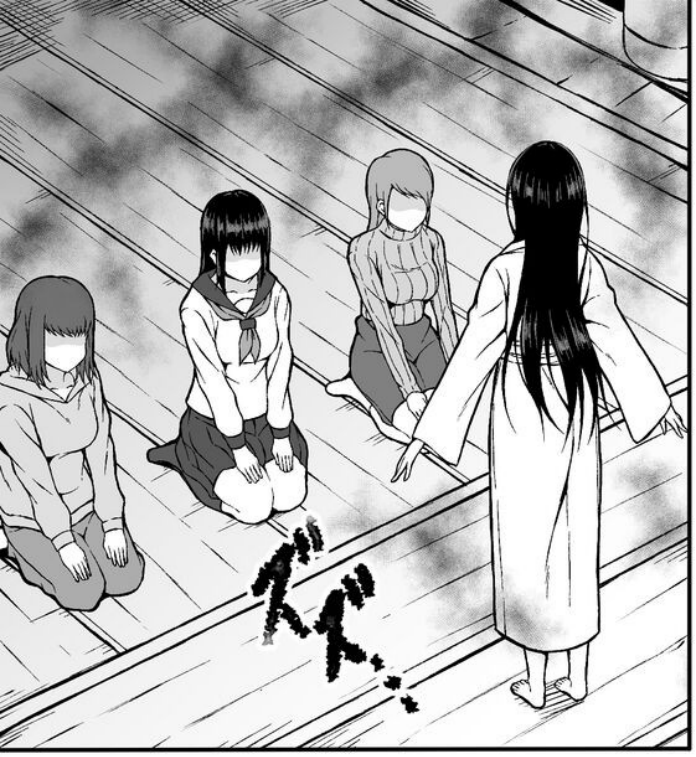
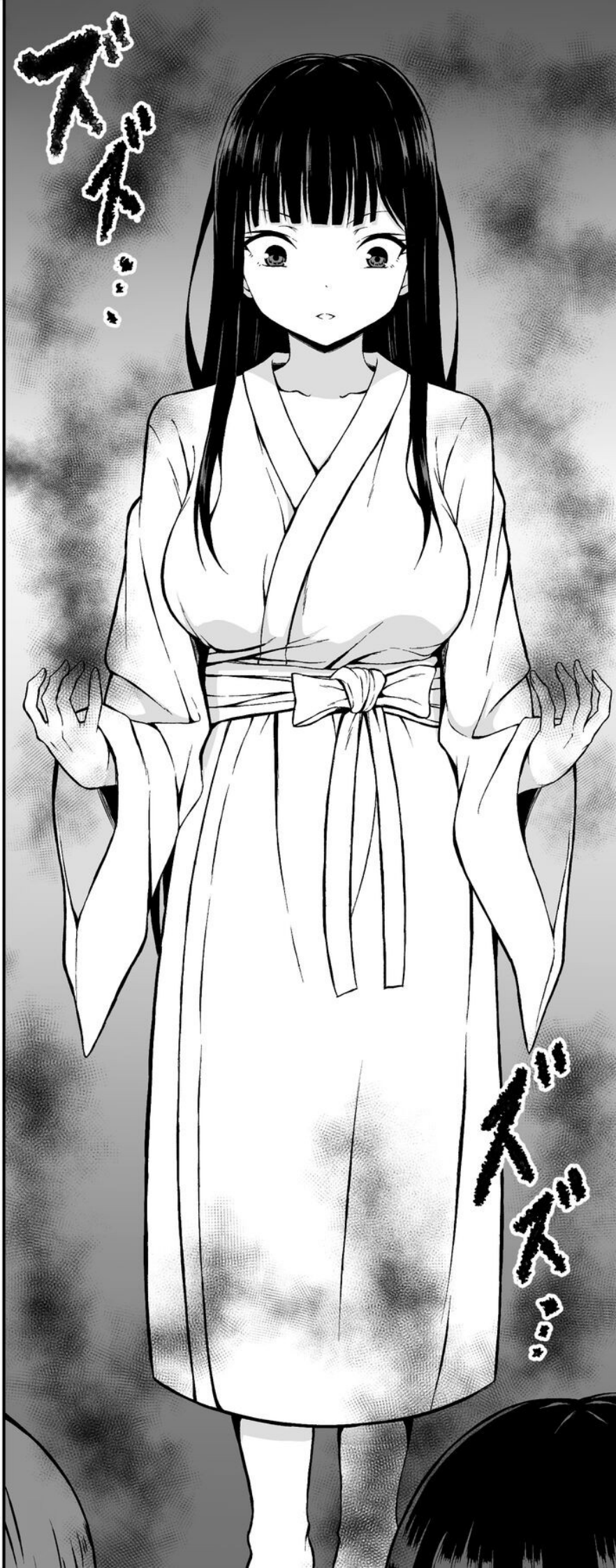

霊媒師ミコト
快楽に敗北す…
～体を清める為にえっちに触られイキ果てるカラダ～




ズズ…

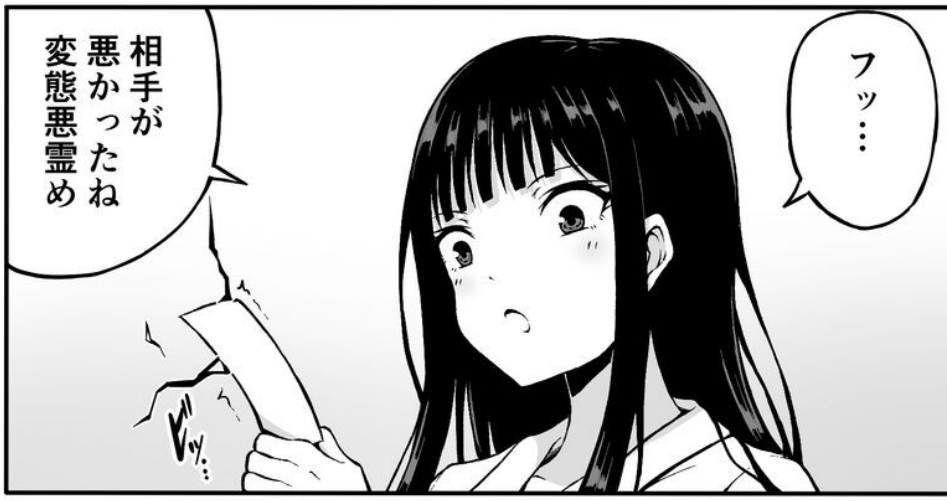

スゥ～…


ズズ…
ズズ…

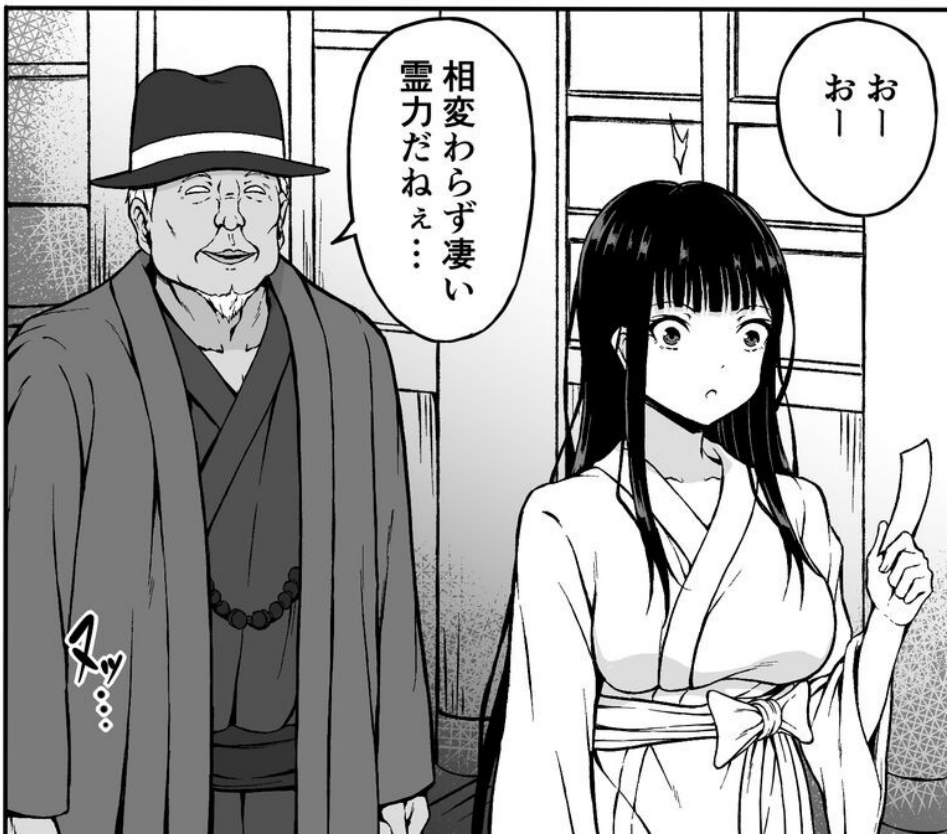

はい
終わり
ﾌｯ…
え…!?
終わった…?
もう…!?
でも何だか体が軽くなってる!
あの嫌な悪寒も無くなってる!
ミコトちゃんありがとう!
私は東雲ミコト 19歳
古来より続く名高い神社の家筋、その分家のもとで生まれ育った
私は本家分家を含む一族の中でもとりわけ強い霊力を持っていて…
今みたいに人々に憑いた穢れ、悪霊、魔を祓うのが日常になっていた
今日からぐっすり寝られそ〜


今の人達もそうだったけど…
最近若い女性ばかりが
お祓いに訪れる…
それに霊障は
いつも共通していて…
ズズ…
きゃッ！
もみゅ
それは…
禍々しい何かから卑猥な
ことをされること…！
くッ…！
もわ…
もわ…
もわ…
ボボ…
コイツ…
今祓った瞬間
今度は私に…
ひぃぃ…
シュッ

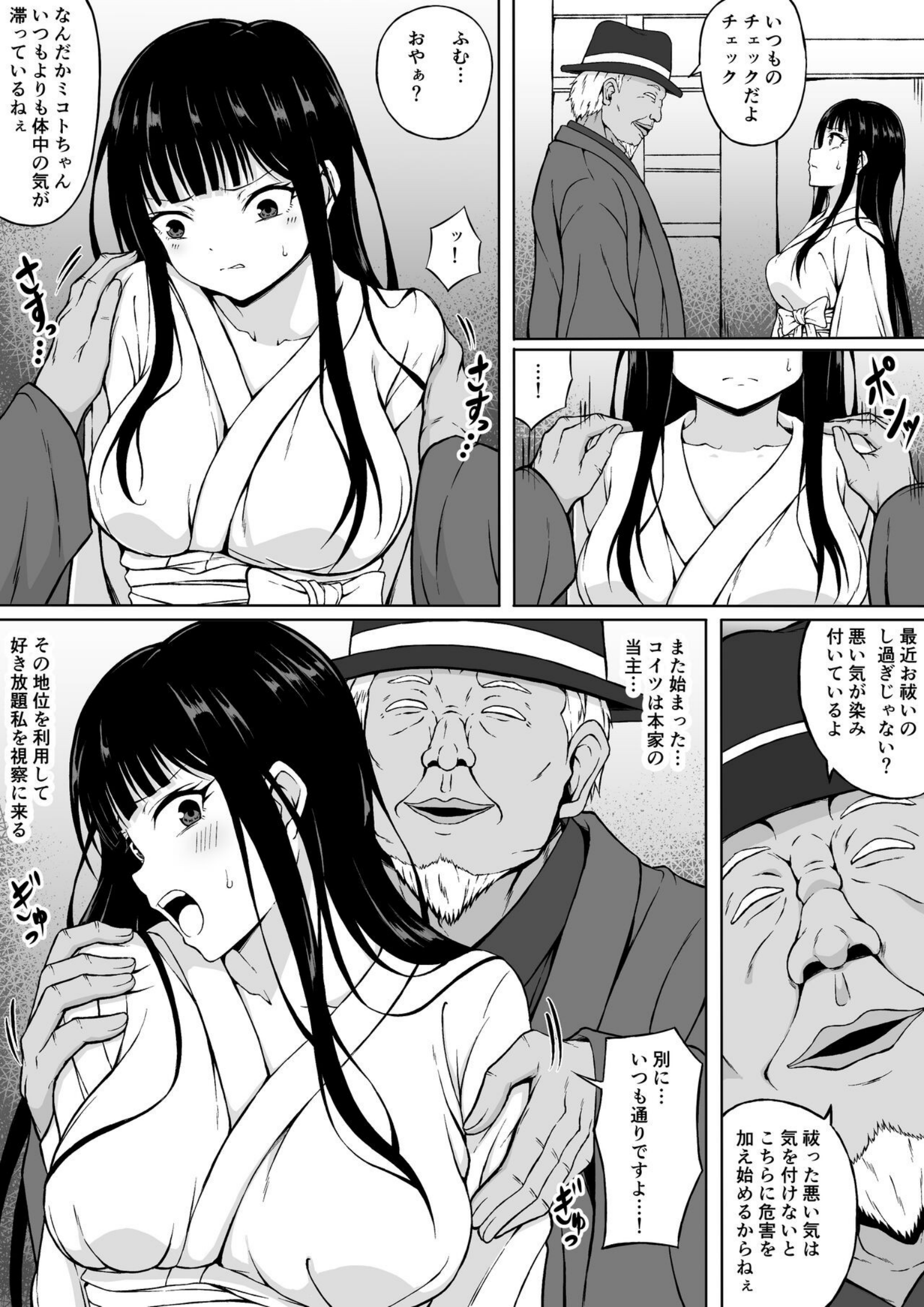

封
バキィ
ビビッ


フッ…
相手が悪かったね変態悪霊め
ビッ…


…
何の用ですか？
げっ…

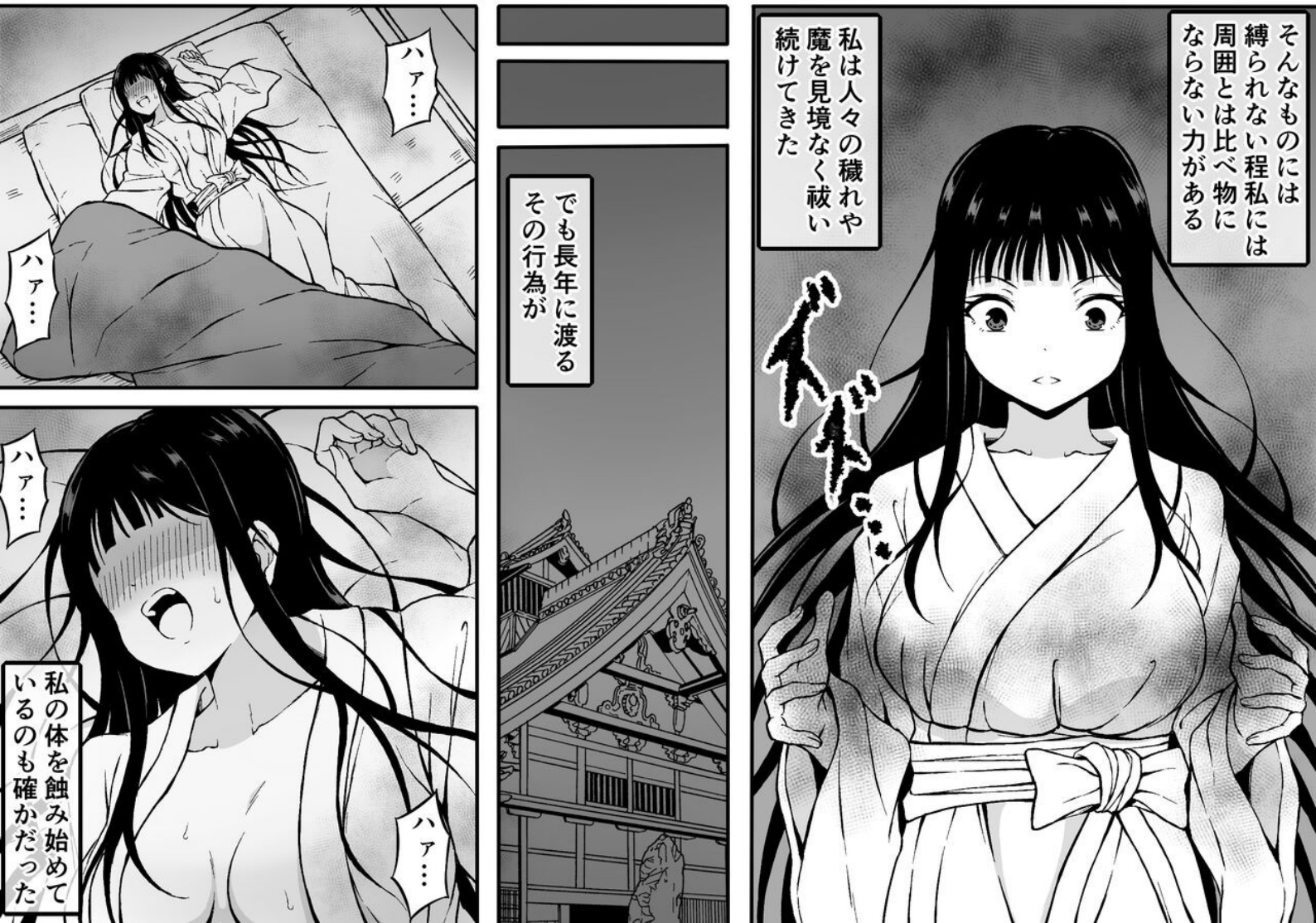

おーおー
相変わらず凄い霊力だねぇ…
ムッ…


魔宮おじさん…


いつものチェックだよチェック
ふむ…おやぁ？
なんだかミコトちゃんいつもよりも体中の気が滞っているねぇ
ッ！
さすっ…
さすっ…
…！
ポンッ
最近お祓いのし過ぎじゃない？悪い気が染み付いているよ
祓った悪い気は気を付けないとこちらに危害を加え始めるからねぇ
別に…いつも通りですよ…！
ギュっ
また始まった…コイツは本家の当主…
その地位を利用して好き放題私を視察に来る
ギュっ


コノ…！
ひゃッ!!
もみ
これは
もうちょっと
詳しく調べない
とねぇ
やめてッ！
バキィ
うお！
ドサッ
自分の身体くらい
自分で管理できる
から！
悪い気に憑かれてるか
チェックする口実で
セクハラするなら…
本家の当主だろうが
容赦はしませんよ
魔宮おじさんよりも
私の霊力の方が遥かに
強いことをお忘れなく
おお悪い悪い
その強い霊力な故
心配なんだよ
君の体が…
…ったく！
ハハッ
ハハッ
ニヤ…


生まれつき誰よりも霊力の強い私は分家の身でありながら本家当主から必要以上に贔屓されそれを快く思わない者たちもいた
あんなエロおやじに目に掛けられてもいいことないっつーの
ズズ…
本家…分家…家柄のめんどくさいしがらみはあるけど正直私にはどうでもよかった


そんなものには縛られない程私には周囲とは比べ物にならない力がある
私は人々の穢れや魔を見境なく祓い続けてきた
ズズ…
でも長年に渡るその行為が
ハァ…
ハァ…
ハァ…
私の体を蝕み始めているのも確かだった

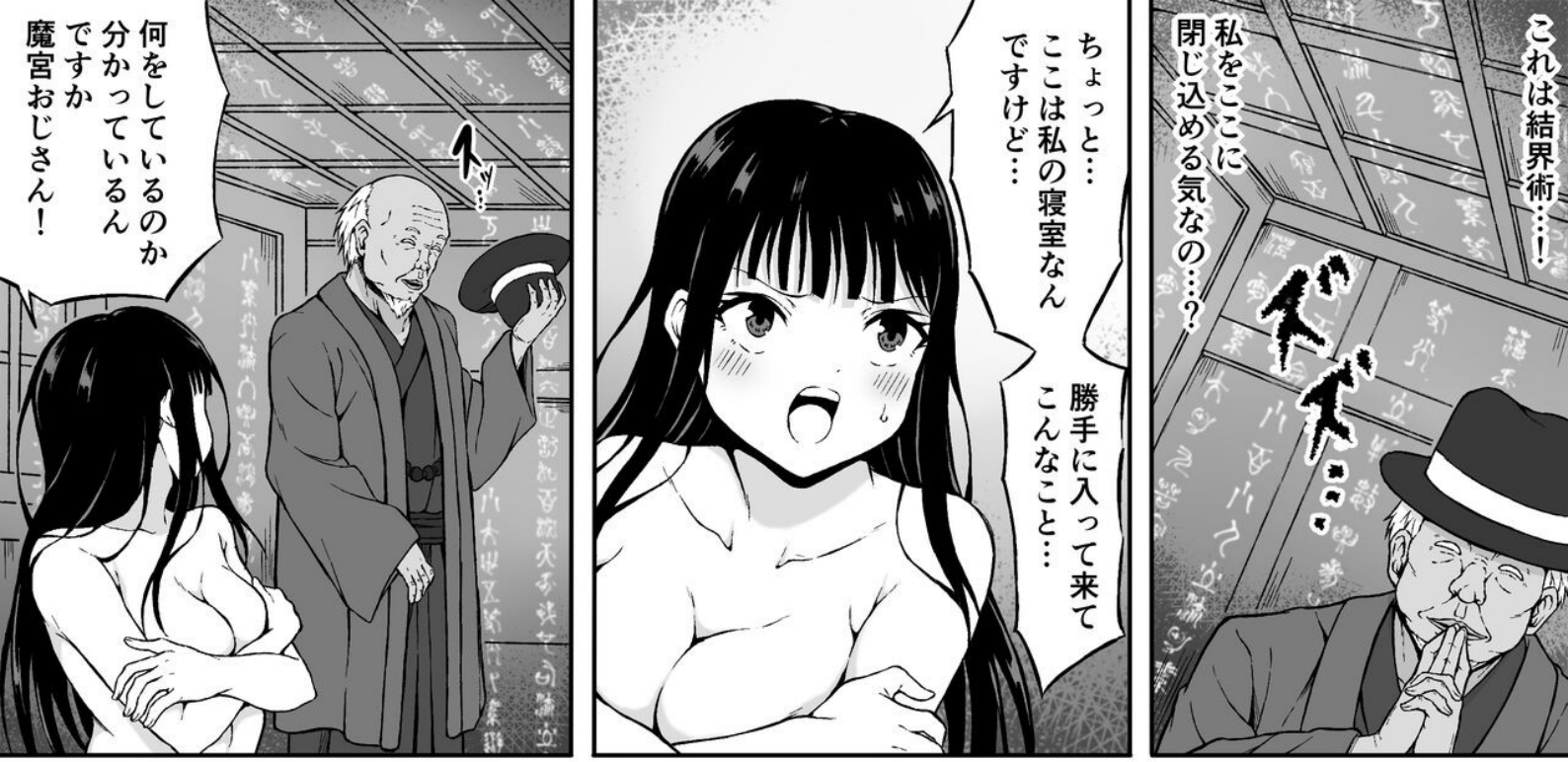

体が熱い…
ハァ…
ぐしっ
うまく動かせない…
ハァ…
ぐしっ
この感じ…これは最近若い女性から祓い続けてるモノ…
はッ…
んッ
なんなの…この私でも祓い切れてないっていうの…？
んぅう…ッ！
くぅ…！
くッ…体中を直接触られて撫で回されてる感触が…

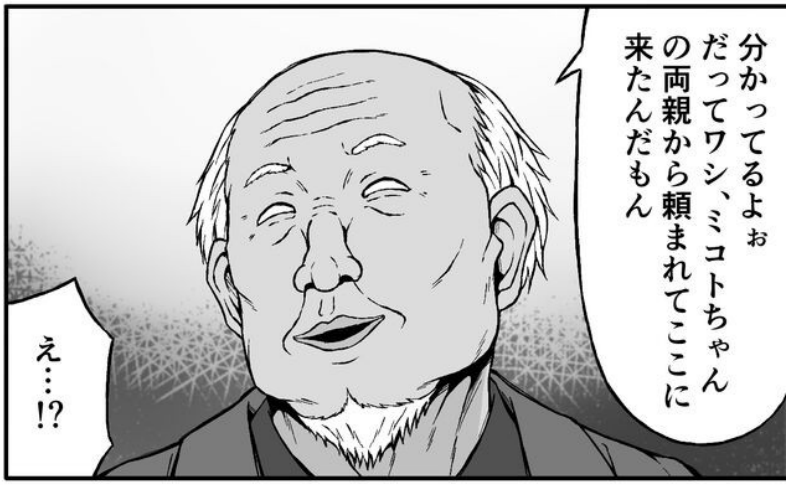

恥ずかしい
とこばかり
触られてる…
んふッ！
もみ
さわ…
もみ
くそっ…
私自身が
霊障に苦しま
されるなんて…
クチュ…
さわ…
んんんッ！
ぎゅっ
やめろッ…
触るなぁ！
まとわりつくな！
やッ！
ビクッ
モニュ
モニュ
ああッ！
ゲシッ
んぐッ！
んん！
んッ！
グチュ…

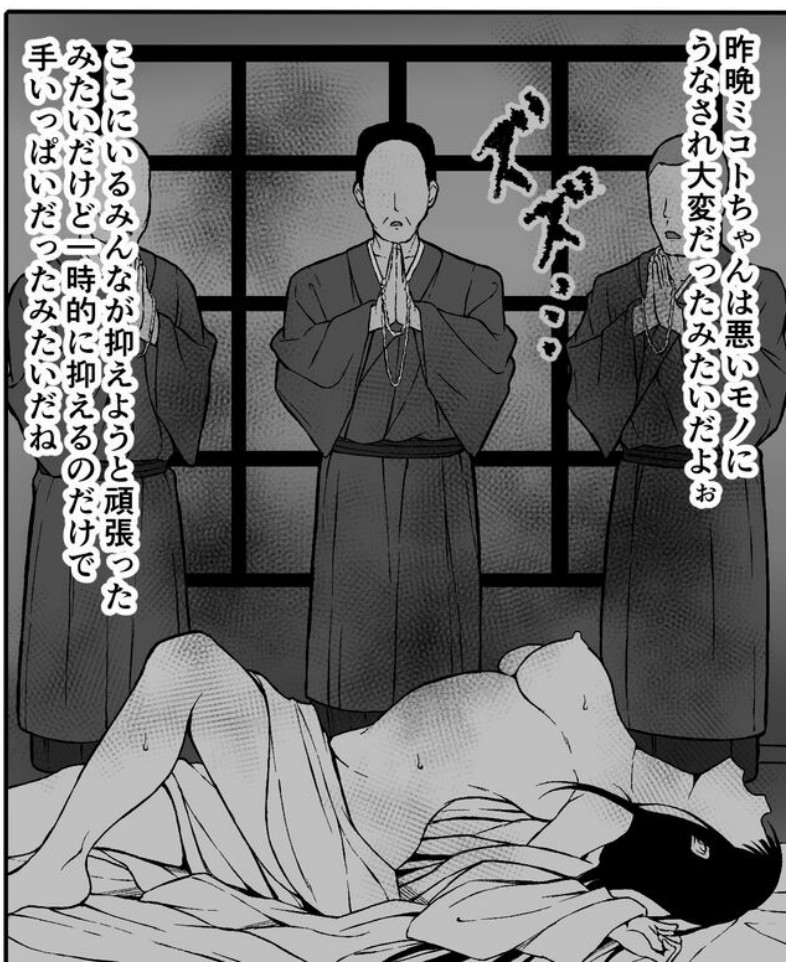

ぐぐぐっ
もみゅ
んんんんーっ
もみゅ
ビクッ
グッ
グッ
ビクッ
うそでしょ…
ビクッ
ビクッ
んんんっ
これ…
私…


ボ～…
ん…
ムク…
朝…
私…いつのまにか
気を失って…
スッ…
あれは夢…？
でも感覚が凄く
鮮明だった…
私…
あのまま犯され…
うず…
ポンッ
ンフフ
昨晩は大変だった
みたいだねぇ
ミコトちゃん


きゃあッ!!
…え!?
魔宮おじさん!?
ちょ…
何でここに…!
ンフフ
ズズ…
!?
ズズズ…


これは結界術…!
私をここに閉じ込める気なの…?
ちょっと…ここは私の寝室なんですけど…
勝手に入って来てこんなこと…
何をしているのか分かっているんですか魔宮おじさん!


分かってるよぉだってワシ、ミコトちゃんの両親から頼まれてここに来たんだもん
え…!?


昨晩ミコトちゃんは悪いモノにうなされ大変だったみたいだよぉ
ここにいるみんなが抑えようと頑張ったみたいだけど一時的に抑えるのだけで手いっぱいだったみたいだね


で、本家当主のワシが呼び出されたわけ
ミコトちゃんの中に蓄積し溜まりに溜まったその穢れを完全に祓う為ね


ミコトちゃんを除けばワシは一族で一番の霊能力者なんだよ？
スッ…
ちょっとまって…！
私の中に溜まった穢れって…
そんなものあるはずが…私の霊力で祓い切れないものなどない！
君はその強大な霊力が故幼いころからお祓いをやり過ぎている
それは人々の穢れや魔に触れ過ぎているのと同じだ
霊力こそ君は一人前だがまだまだ肉体が発育段階でそれに見合っていない
グッ…
刻み込まれているのさ…君の肉体の方には
塵積もった大量の穢れがねぇ
んで
それをワシと体と体を合わせることで全て浄化しようってことさ
スルッ…
ちょっと何で服を脱いで…！
体と体を合わせる…分かるでしょ？今からワシとミコトちゃんはセックスするんだよぉ


セッ…
はぁ!?
意味が分からない!
ぎゅっ
結界は張ったし
声は外に漏れないよ
思う存分キモチ良く
なろうねミコトちゃん❤
…ッ!
そこまでの
変態だったんですね
魔宮おじさんは…
!?
ゴゴゴゴ
ビッビッ
おお…!
凄い霊力だ!
ワシの結界がいとも
簡単に崩壊しそうだ!
私の中に穢れが溜まってるなら…
私自身の霊力で祓えばいいだけ
でしょ!今!いつもように!


それがそういうわけにもいかないんだよねぇ
ガバッ
ひッ！
ぞくっ
ちゅっ♥
んんッ！
うそ…信じらんない…！
ビクッビクッ
んッ！
ビクッ
んんッんんッ
ちゅぷ♥
ちゅる♥
ビクッ
あッ…！
ヌチャ～♥


ンフフ
ヌチャ…
その…
呪印は…
ハァ…!
ぐっ…
ハァ…!
今の接吻で
体を操る呪術を
施したよ
…ッ!
もうミコトちゃんは
ワシの思うがままだ
ぶるぶる…
はぁ?
あなたごときの力で
私を操れると思って…?
この…
変態ジジィ!
!?
腕を
のけなさい


えっ
うそ
何で…
グッ…
そのまま
胸を突き出し
なさい
やッ！
グ…
いや…
いや！
今
私…
霊力がうまく
扱えない…！
ぷるんっ
いやぁあッ!!

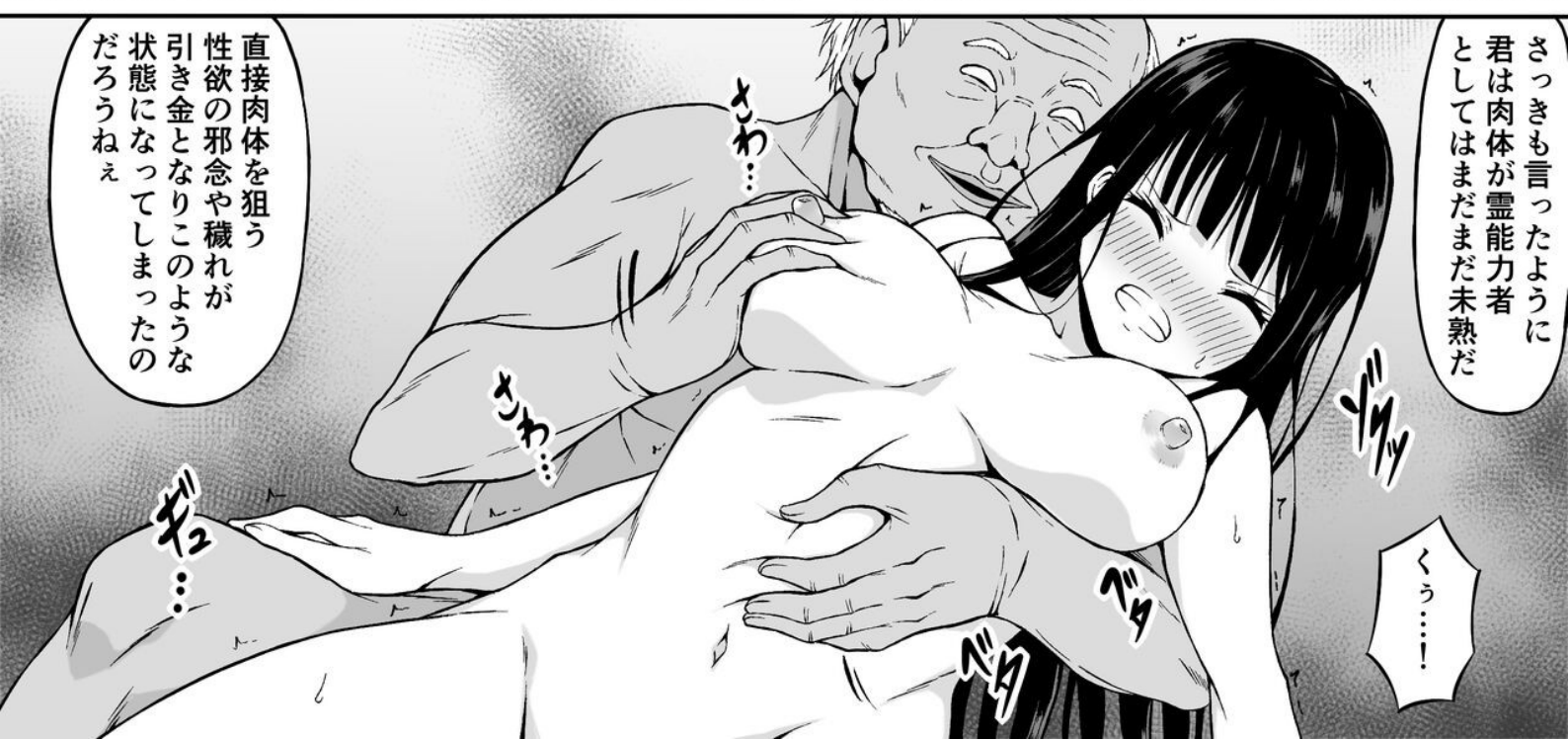

いやぁっ！
見るなぁ！
ぷるっ
やっ…
おほほっ
やっぱり
凄く綺麗で
大きなおっぱい
じゃないかぁ
どれぇ…
ぬっ…
やめっ…
もみゅっ♥


おお…なんと
柔らかい！
指が
沈むよぉ！
んあッ！
もみ
もみ
さわ…
るなぁ！
いいこ
ンフフ
ずっとこのおっぱいを
直で揉んでみたかった
んだよねぇ
くぅ…！
ビクッ
ビクッ
もみ
もみ
もみ
んほほ～
マシュマロ
みたいだよ
くそ…
この程度の呪術で体を
縛られるなんてありえない…

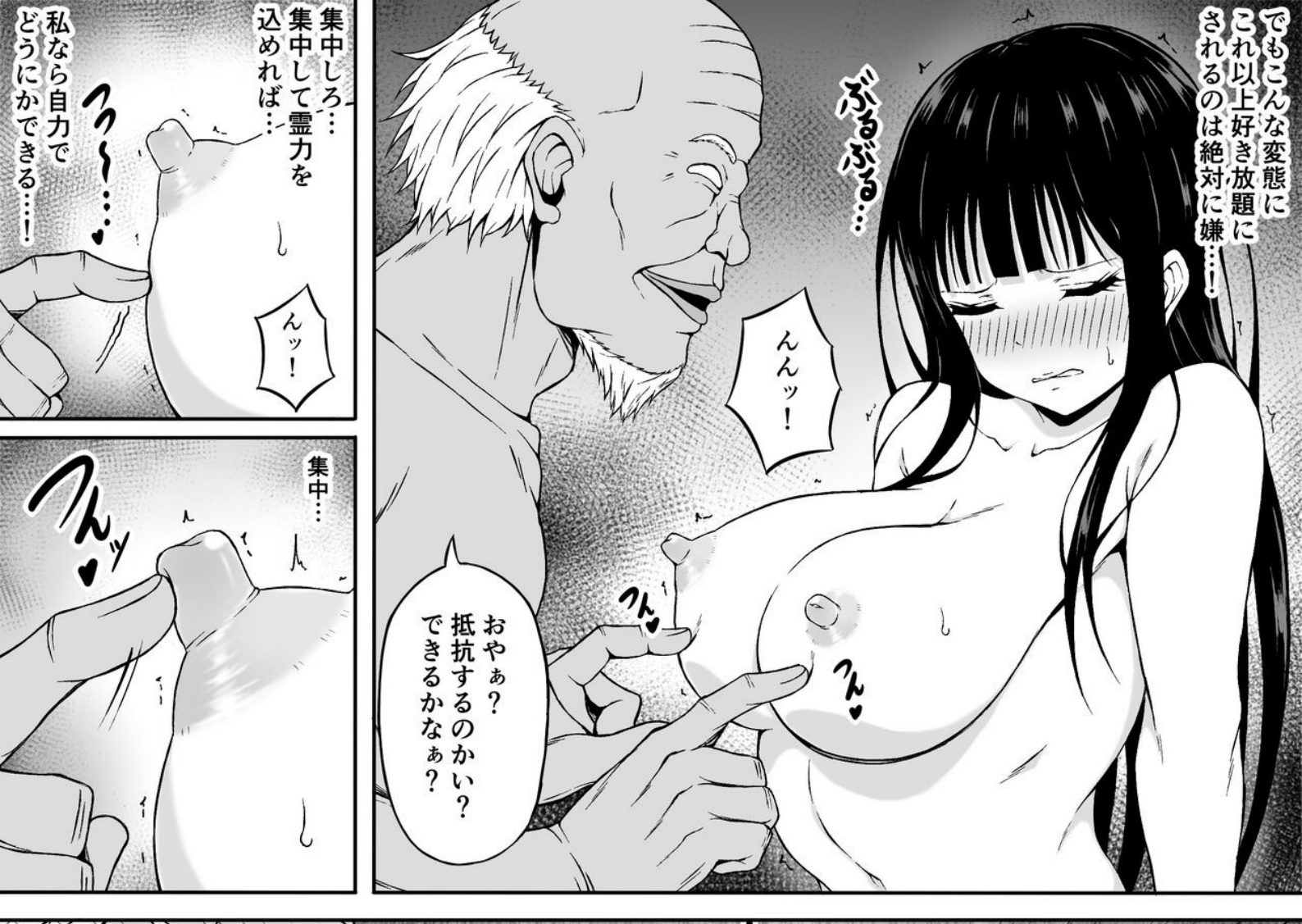

ほらっ
そのままワシに
もたれかかりなさい
やぁ！
バッ
んあぁッ!!
ビクンッ
モミ♥
モミ♥
私…昨日の夜から
体がおかしく
なってる…！
もみゅうう♥
んんッ！
ビクッ
くぅう！
ンフフ
どうしたの
ミコトちゃん
嫌ならお得意の霊力で
ワシを突き飛ばせば
いいじゃないか
昨日みたいに
ギュ♥
ギュ♥
ビクッ
黙れ
変態ッ！
ンフフ～
出来ないんだろぉ？
ニヤァ…


あぁうッ！
体が熱くなり凄く敏感になってるねぇ
かなりの穢れに浸食されてしまったようだ
君の中に蓄積された穢れのことをもっと詳しく説明してあげよう
んんッ！


最近若い女性のお祓いが多かったろう？
そこで祓ったモノは女性を狙った強い性欲の悪霊ばかりだった
女性からそれらを取り祓った瞬間その僅かな悪霊の邪念が君の中に入り込み
君の中に溜まった穢れを養分とし
巨大な性欲の穢れとなって君の体を蝕み始めてしまっているのさ


さっきも言ったように君は肉体が霊能力者としてはまだまだ未熟だ
くぅ…！
直接肉体を狙う性欲の邪念や穢れが引き金となりこのような状態になってしまったのだろうねぇ


ほらほら
体を触られると
霊力もうまく
練れないだろ
つまりミコトちゃんは
エッチなことを
されるとめっぽう
弱くなってしまうんだ
かわいいねぇ
ゾクッ
もみゅ
ぎゅうう〜
うぅう…ッ！
ゾクゾクッ
キモイ！
気持ち悪い！
ンフフ　怖い？
こうやって男女で
体を絡め合うことは
初めてなんだろ？
今日はワシが
優しくい〜っぱい
教えてあげる
からさぁ
ビクッ
やッ！
もみ
もみ
ぎゅっ
誰が
あんた
なんかと
こんなこと…ッ！
たしかに体が
異常に感じて
しまう…


でもこんな変態にこれ以上好き放題にされるのは絶対に嫌…！
ぶるぶる…
んんッ！
おやぁ？抵抗するのかい？できるかなぁ？
集中しろ…集中して霊力を込めれば…
んッ！
ふ～…
私なら自力でどうにかできる…！
集中…
ふんッ♥


んうッ
ふ♥
ふん♥


あッ
ちょッ…
ダメ…ッ！
そこはダメェ…！


ンフフ～
やっぱりココは
凄い反応だね
乳首弱いの？
ミコトちゃん❤
くッ…！


は…ッ！


ハァ…！
ハァ…！


ほらっ
ちょんっ♥
んん～！
ほ～ら
ほら
くッ！
ううう～！
心を乱されるな…
集中しろ…ッ！
集中……！
…ッ！
触って
欲しい？
集中…
やッ！
ピッ♥
ピッ♥


あぁぁッ
ピッ
ビクッ
ピッ
ピピッ
ビクッ
ほらほら
どうしたの？
抵抗しないの？
ビクッ
ンフフフ
君はこの
快楽には
勝てないんだよ
ビクッ
ふぅ…ッ！
うう…！
くそ…
何もできない…
ビクッ


いっぱいキモチ良くしてあげるからね❤
くうううッ
ビリビリッ
つん
つん
つん
もうイキそう？
ドキドキッ
それどころか…
このままじゃ…
このままじゃ私…
んッ
クニィ♥
あああ
ぎゅう♥
ぎゅう♥
ビリビリッ
ビリビリッ
シュッ♥
シュッ♥
シュッ♥
シュッ♥
シュッ♥
シュッ♥


ッッ
はぁあッ♥
ぎゅうう♥
ぎゅうう♥


ンフフ
イッちゃったねぇ
乳首で性的絶頂❤
かわいいイキ顔
だったよ
ミコトちゃん❤
ハァ…!
ハァ…!


フム…
やはり今の絶頂で
体の中の穢れが
少し浄化した
ようだねぇ
性欲の穢れを祓うには
直接性的快楽を与えて
やるのが一番だ
これから嫌という
ほどイカせて
あげるからね
ミコトちゃん❤
さぁ
布団に
寝転びなさい
もみゅう
ハァ…!
ハァ…!
ッ!


くっ……！
ンフフ
こうやって
まじまじ
見ると
やっ！
ズイッ
ミコトちゃんって
本当にエッチな
体してるよねぇ
もみゅう♥
ぐりっ
んんんッ！
ワシはミコトちゃんを
強い霊能力者として
見ていただけじゃなく
ドサッ…
ズッ…


かわいいかわいい
女の子としても
見ていたからねぇ！❤
レロ…❤
ビクッビクッ
ふぁ❤
あ❤
あ❤
あッ❤
ビクッ


くっ…！
お前が…ッ！
仕向けたんだろッ！
ちゅるる❤
んん～？


おほほ！
めちゃくちゃ
濡れてる
じゃないかぁ！
やぁあああ!!
メグッ❤
リュッ❤


どこまで裏で手を引いてたかは知らないけど…んッ！
私のもとに若い女性ばかり招き入れ…
性欲の悪霊を祓わせ…
くッ…！
この状況を作り上げた…
ンフフ…分かってたんだ
イイねぇその勘の鋭さ


ミコトちゃんのそういうところもワシだ～い好き❤
ビクッビクッ
ぐちゅぐちゅ❤
うあああっ❤
グチュチュ❤
グチュチュ❤
ビクッ


うあッ…！
は…ッ！
ビクンッ
壁にもたれ掛かり足を広げなさい
ハァ…！
ぶる…
ハァ…！
やッ！
ぶるぶる…
ワシは人の体に触れ霊力を吸う力が長けててねぇそうやって自身の霊力も高め本家当主まで登り詰めた
そんなワシがミコトちゃんの霊力を吸わないわけにはいかないよねぇ
やっ！くるなぁ！
グッ…
ぬ～…
ネチョ…
ビクッ
ひぃいい!!
ビクッ


んはぁ♥
あぁ♥あッ
ビクッビクッ
ぢゅるるる♥
ぢゅぷぷ♥
ぢゅるるる♥
ぢゅる♥
ぢゅる♥
ぢゅる♥
ビクン


生まれながらにしてワシよりも強い霊力
いったいどんな味なのか直に触れて吸いたくて仕方なかったんだ
ぢゅる♥
ぢゅる♥
いやッ


はッ!
ちゅ♥
ちゅぢゅ♥
んん〜おいちいおいちい今まで沢山の女性霊能者の霊力をセックスを通して味わってきたけど


ミコトちゃんが格別においしいよぉ～❤
ぢゅるるる❤


ンフフ気持ちいいねぇ
いいよぉどんどんイッちゃってよ

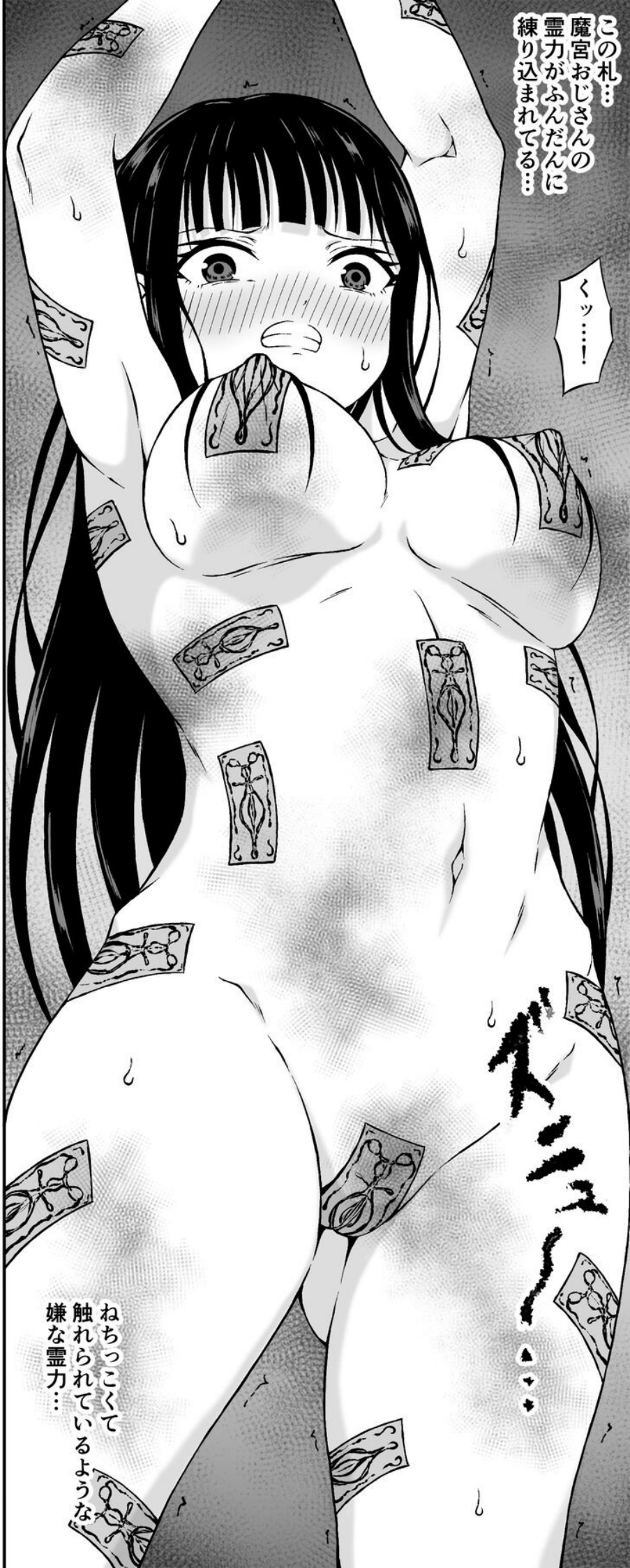

ワシとのセックスではみ～んな快楽に堕ちちゃうからねぇ
ミコトちゃんも穢れを全部祓い切る頃にはどんなことになってるかなぁ楽しみだなぁ❤


ギシ…
んッ…！
ギシ…
くッ…！
…ッ！
ペタ…
ハァ…
これでよし…
と
ハァ…
ハァ…
何を…
する気なの…！
ギシ…
ハァ…
ハァ…
ギシ…


ギシ…
ギシ…
これはワシの特性呪符…
今からミコトちゃんの
性的感度を
最大限まで
高める呪術
を施すよ

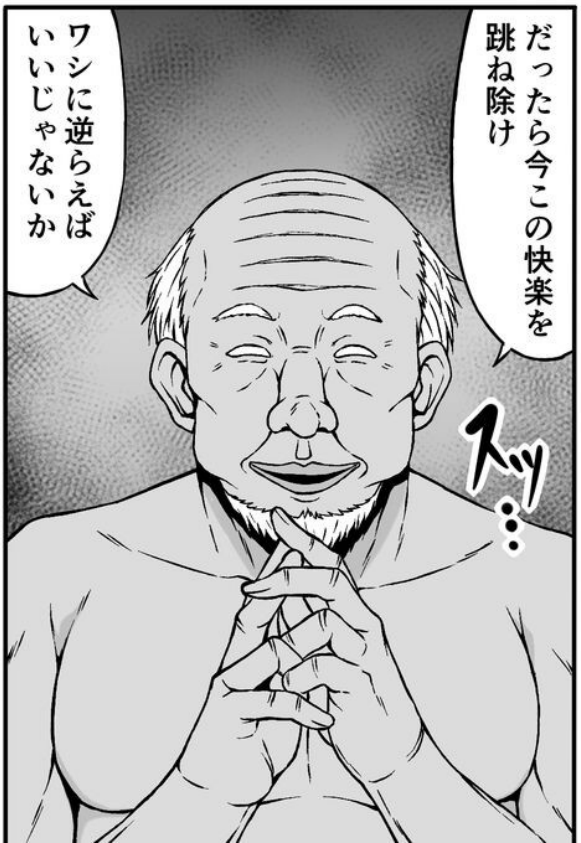

なっ…


ンフフ
ただでさえ穢れにより
外側から性感を高められ
てるのに
ワシの呪術によって内側
からも性感を高められ
たらどうなっちゃうかなぁ


この札…
魔宮おじさんの
霊力がふんだんに
練り込まれてる…
くッ…！
ねちっこくて
触れられているような
嫌な霊力…


ねぇねぇ楽しみだねぇ
今までよりさらに
キモチ良くなっちゃうんだ
ミコトちゃんが快楽で
泣き叫ぶ姿はどんなかなぁ
クン…
ギュ…
ぎゅ…
くッ……！


ンフフ
始めるよぉ
ズズ…
…ッ！


だったら今この快楽を
跳ね除け
ワシに逆らえば
いいじゃないか
スッ…


とんでもない変態ね…
お前は絶対に許さない


弱虫木
ドン
あ
あ
あ
あ
え…!?
うそ…
なんなのこれ…!?


ぐちゅ
ズズ…
ぬぷ
ぬぷ
いやァア！
ダメェ…！
快感が
内側から込み上げて
きてッ…！


イクう・・ッ!!
あぁ!!
プシャァァァ


あッ♥…


ハァー…！
ハァー…！


うはは！
これは想像以上の
乱れっぷりだ！
ビクッ
ビクッ
ぱッ♥…
プシュッ…

どれぇ…
ヌッ…！


あぁあぁあッ♥
もみゅう…♥
ビクッ
あああああッ!!
ダメダメェ…!
体が感じ過ぎてッ…


う～ん♪
イイ声で鳴くねぇ
ミコトちゃん
ヤッ
あぁ♥
あッ♥
ビクッ
ビクッ
どうだい？
キモチ良過ぎて
もう喘ぐことしか
できないかい？
もみ
もみ
んっ♥
ビクッ
ビクッ
おいしいなぁ～♥
ペロォ…♥


ンフフ
このおっぱい
くびれ　腰つき
本当にワシ好み
のカラダだよ
あぁ
さわ
ダメ…撫でられる
だけで全身がゾクゾクして…
我慢できない…！
ベタ
さわ
ベタ
さわ
ビリッ
ビリッ
ビリッ
それに全身を巡る
この素晴らしい霊力…
まさに極上のカラダ
だねぇ


ンフフ
もうワシも
我慢できないよ
ぎゅ…
スッ…
きゃッ！
ハッ
ぎゅうぅぅ～…♥
もう一つになろっか
ミコトちゃん♥
スル…


ひぃ！
やッ…
この感触は…!?
きゃッ！
んぅ…ッ！
ぎゅう♥
にゅる
!!
ドキッ
ベタ～…
ほら
もうワシ…
ギン…♥
ギン…♥
こんなに
ギーンギンに
勃っちゃった♥


きゃあ！
バッ
やっ…
うそ…
コレ…は…
ギン…♥
ギン…♥
ふふふ
男のモノを見るのは
初めてかい？
ゾッ…
さぁミコトちゃん
自分の濡れ濡れのま○こに
ワシのチ○ポを挿入するんだ
ビクン…


ちょ…
嘘でしょ…!?
こんなの
絶対に…
スッ…
絶対に嫌！
やァッ！
いやァ！
ぬちゅ…
ンフフ
ワシのチ○ポで完全に
快楽堕ちさせてあげるよ
ニヤァ…
さぁ…ヤるよぉ❤
ゾクッ…
ゾクッ…
……あッ…！
お前は…
絶対に…
絶対に許さな…
ズプッ
ぐちゅ…❤


あぁぁぁ
ビクビクッ
ビクッ
グチュ
グチュ


おほほ!!
凄い締まるねぇ!
どうだいミコトちゃん!
初めてのチ○ポの味はぁ!


うそ…
挿れられると…
こん…なに…ッ
ズチュ♥
ズチュ♥
あぁ♥
あッ♥
ヤッ♥
あッ♥
あッ♥
ダメ！
ダメェエエ!!
快感で頭がもって
かれそうに…ッ！
あッ♥
あッ♥
あッ♥


ああ…
キモチイイねぇ
ミコトちゃんッ！
ワシもこんなに
キモチイイの
久しぶりだよッ！
んぐぅうん♥
ビクッ
ビクッ
ゾクッ
お前は…
後で…
私の力でッ…
必ず
呪い殺して…ッ
ヌチュ♥
グチュ♥
ンフフ
呪い殺すなら
まず…
ズズ…


んんっ♥
ビリッ
とわ…♥
自分に掛かってる
その呪いのようなものを
どうにかしないとねぇ！
もみゅ♥
もみゅ♥
ビリッ
ビリッ
これは…
昨日の夜みたいに…
ピッ
ピッ
ピッ
うあっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
体中を触られる
感触が…ッ！


ズズ…
あぁぁ♥
ビクッ
さわ…
もみ♥
もみ
もみ
もみ
さわ…
さわ…
ズズ…
ウハハ！
凄いねぇ！
この快楽に応じて
ミコトちゃんの中の
性欲の穢れも一気に
呼び醒まされたようだ！
あぁぁんッ♥
グチュ♥
グチュ♥
ビクッ
ビクッ
ひぃあ♥
さぁ
た〜っぷりと
可愛がられて
もらいなさい
ペロォ…


ダメッ！乳首はダメ！ダメェ！
吸わないでぇえええッ!!


ビクッ
ぢゅるる
ちゅぅ
ちゃ
ちゃ
んっっっ
くっっっ
ぢゅぱっ
くちゅ
ぢゅるる


さぁ出すよミコトちゃん！
ワシの精液をミコトちゃんの
ナカにィ！
ビクッ
あっ
ダメェ
あぁ
あっ
ゲチュ
ゲチュ
ビクッ
あぁ
あっ


ぴゅるっ♥
ぴゅるっ♥
ぐぷぷぷ
ぐぷぷぷ
ぴゅるる♥
ぴゅるっ♥
どぴっ♥
どぴっ♥
ぁぁぁ


どうだいミコトちゃん？初めて中出しされた感触は
ンフフ全身ビクビクさせちゃってまだ快感の余韻が残っているのかい？
今のでだいぶ穢れは浄化できたみたいだけどワシはまだまだ楽しみたいからねぇもっともっとミコトちゃんを味わい尽くしてもらうよ❤
それからは…


ただただ魔宮おじさんに嬲られるだけの時間…


この変態の私への執着心と底知れぬ性欲は凄まじかった
ああ最高の霊力と体♥本っ当においしいよぉ♥
ちゅうううう♥
ぎゅっ♥
ぎゅっ♥
ビクッ♥


何時間も何時間も犯され続け…
あまりの快楽に私の中の穢れはとっくに全部浄化していた…
バチュッ♥
バチュッ♥
ビクッ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥


もうセックスする必要なんてない
んっんんッ♥
ビクッ
ぁッやぁ♥
魔宮おじさんも私の体に夢中で体を縛る呪術も解いている
もみゅ♥
もみゅ♥
ぐちゅ♥
ぎゅぷッ♥
んっんんッ♥
うんっんんッ♥
もみもみ♥
ビクッ
やみ♥
もみ♥
ぐちゅ♥
ぐぷ♥
あぁ！キモチイイ！キモチイイよミコトちゃん！♥
一刻も早くこの場から抜け出したいのに…


この強過ぎる快楽に
どうすることも出来ず
精液を注ぎ込まれ続けた…
あぁあぁあぁあぁッ♥
ビクッ
ビクッ
びゅるッ♥
びゅるるるッ♥
ビクッ
ハァッ♥
ビクッ
ンフフ
かわいいねぇかわいいねぇ
あんなに反抗的な目だったのに
こんなにとろけた目になっちゃって
ハァッ♥


ほらッ！ほらッ！
どうだい!?
ワシのチ○ポ
キモチ良くて
仕方ないだろぉ！
あんあっはァ
ビクッ
ビクッ
ズチュッ
ズチュッ
あぁ
キモチイイ…
あぁ
キモチイイ…ですッ
あぁ
ビクッ
ぶるっ
ぶるっ
遂には自らこの快楽
を認めてしまい…


うんうんうんっ♥
もみ♥
もみ♥
もみ♥
もみ♥
ウハハ！
どれだけ強い霊力を
持っていても
ミコトちゃんはワシと
この快楽には勝てないんだ
グチュチュ♥
ズギュ♥
ビクッ


あぁ♥
あぁ♥
あぁ♥
ほぉら
弱点の乳首も苛めて
思いっきりイカせて
あげるよぉ❤
ビクッ
ビクッ
ビクッ
もみゅ♥


ビクッ
イクぅぅッ♥
ぎゅっ♥
ぎゅっ♥
ビクッ
びゅるッ♥
びゅるるッ♥
最後にはこの部屋の結界の外まで響いてしまうくらいの喘ぎ声で泣き叫びイキ果てた…


ンフフ
ごちそうさま❤
どぷんっ…
あッ
びゅっ
今までに味わった
霊力で一番の
おいしさだったし
一番に気持ちいい
セックスだったよぉ
これからもたーっぷり
味わせてねミコトちゃん❤
バっ…
ビクッ
私には周囲とは比べ物に
ならない程の霊力がある…
でも強すぎる快楽の前では
どうすることも出来ない
ことを体に覚え込まされた…